

THE Y'S MEN'S CLUB OF NASU

NETWORK NASU

CHARTERED 1995



那須ワイズメンズクラブ

2019~2020年度 No.245

6 月報

那須クラブ会長 主題

地域につなげ那須ワイズ



強調月間：評価

今月の聖句

イスラエルの神、主よ、まことにあなただけがすべての人の心をご存じます。

(旧) 王上 8 : 39

・ 6 月第 1 例会

6 月例会は、新型コロナウイルスの影響で中止。

2019~2020年度 主題

国際会長：(IP) Jennifer Jones (オーストラリア)

「より良い明日のために今日を築く」

アジア太平洋地域会長：(AP) 田中 博之(東京多摩みなみ)

「Action!」

東日本区理事：(RD) 山田 敏明 (十勝)

「勇気ある変革、愛ある行動!」

北東部長：鈴木 伊知郎 (宇都宮東)

「われら北東部、世界のワイズメンと共に前に進もう」

クラブ役員

会 長 : 河 野 順 子

副会長 : 村 田 榮・田 村 修 也

書 記 : 藤 生 強

会 計 : 村 田 榮・鈴 木 保 江

担当主事 : 藤 生 強

ブリテン : 田 村 修 也・村 田 榮

6 月例会データ— (出席率：60%)

在籍者 6名 (内 功労会員 1名) 例会出席者 4名

6 月 Happy Birthday

なし

・ 6 月第 2 例会 (役員会)

後日連絡

・ 6 月第 1 例会 ()

後日連絡

・ 7 月第 2 例会 (役員会)

日時：7月3日(金)午後0時から

・ 7 月第 1 例会 (キックオフ例会)

日時：7月24日(祝・金)午後1時30分から

場所：原田ワイズ宅

メンバー通信たより

近況報告その2

河野順子

漸くコロナも終息に向かったと思い、東京でもすべての自粛が解かれ、さて、これから楽しみが増えたとうきウキの6月でした。

シルバー大学校OB会のクラブ活動の再開の知らせがありました。麻雀・卓球・マジック等からの活動に、身体が鈍ってしまつて卓球は継続できるか悩んでいるところです。自粛中でも、自分なりに散歩をし、筋力維持の努力はしたつもりでも、スポーツジムのようにはいきません。と言っても、後期高齢者の新人？である自分が、たかだか数ヶ月で、このように体力が落ちるものだろうか？体力のみではないのか。やる気(意欲)なのだろうか？と考えました。

地方の強みで、我が家の庭は広い。お陰でこの自粛時、草むしり、野菜の苗植え、こよなく愛しているバラの手入れ(丁寧に)行うことができました。これらの手入れは、今になって功を奏して、キュウリ・キャベツ・茄子・ネギが収穫でき、バラの病気もおきず、バラの葉は健在です。梅雨時にどうしても葉に病気が出てしまうのに、今年は青々しています。もちろん、手をかけただけバラの花は応えてくれました。大輪の花がたくさん咲き、披露したくても時期が時期だけに多くの方に観ていただけません。ご近所さんにマスクをかけたまま、観ていただきました。

なのに、体力、気力は落ちている感じがしました。なにが原因か？身体を動かし、食事もしっかりしている。あとは、社会参加が不足しています。そういえば、外出しなくて済むので、緊張感に欠けていました。

自粛が解けて、季節の花々の紹介が新聞等で紹介されました。黒羽の百合は休耕地で栽培し、毎年、近隣市町民の目を楽ませてもらったところがあります。ここで働くボランティアの人々の高齢化により、栽培継続は困難のため、今年でやめる。すべての苗を売りますとのこと。行ってみました。数種の黒百合がつぼみを持っています。確かにこの面積に咲かす労力はたいへんなものと思いました。良心的な値段の素敵な黒百合を購入しました。レッドストーン・ラルゴ等の種類です。今、自宅できれいに咲いています。

人々を楽しませて下さる陰に、高齢者の汗があるのだと思いました。

ただ、人生100年と言われている中で、前述し

たとおり、まだ後期高齢の前期の自分がここで、弱ってはいられません。

これからもがいても抗いきれない心身の衰退を遅らせ、いかにQOLを高めた生活をしていくかは、自分の努力と思いコロナの感染に気をつけて、社会参加に踏み切っていきたいと思っているこのごろです。

近況報告

田村修也

コロナウィルスによる外出自粛のため、公民館も閉館となり、教会でも集会自粛その上、梅雨の長雨で家にいる時間が長くなった。毎年この時期になると決まって作っていた梅酒作りも、家族は全然飲んでもくれないし、今まで進呈していた皆さんも、年と共に少なくなって来た。おかげで梅酒のボトルは年代物がずらりと並んでも、眺めているだけで溜まるばかりである。自分が飲めばいいのといわれるが、入院の度に造影剤のお世話になっているので、透析予備軍になっている。腎臓にこれ以上負担をかけるわけにはいかないので、集まる機会があっても、アルコール類は控えている。

我が家には3本の梅の木がある。1本は私と同じで加齢のため花を楽しむだけ。2本目は小梅で、これも周囲の樹木と競争で背伸びして、熟した身を拾い集めてそれなりに楽しめる。3本目は気が付いたら我が家の住民になって、毎年少量ではあるが大きな実を結んでくれている。

3年ほど前に漢方薬の間屋をしている友人から梅シロップの作り方を教えてもらった。それ以来梅酒作りはやめて梅シロップ作りを楽しんでいる。梅の実にはヘタを取ってよく洗い、水分を取って下ごしらえ。梅の実1kgにたいして砂糖を500~600gを用意して、炊飯器に入れる。あとは「保温」にして7~8時間待つだけ。明けると梅の実がトローンと解けたようになり、下には見事な梅シロップが出来ている。今年は梅が少ししか取れなかったのが3回で終了。1回目は新調した電気釜で作ったが不調。娘に以前使っていた炊飯器を借りて作ったら、いつものように出来上がった。梅の実には種を取ってシューサーにかけるだけで埋めジャムが完成。是非チャレンジすることをお勧めします。シロップは冷蔵庫に入れておいて、適宜薄めて飲むと美味しいです。常温で置いておくと発酵してしまいます。ご注意ください。

藤生 強

那須YMCA 発達支援児グループ活動について

・藤生が担当している発達支援児の2活動（小学生対象、中高生対象）ですが、サポートを頂いている国際医療福祉大学は7月中旬より全学年での対面授業（一部）が開始される予定ですがサークル活動やボランティア活動は引き続き禁止であるため、活動開始の見通しは立っていません。教授と相談し、大学でのサークル活動やボランティア活動が解禁された後、数回活動を行う運びとなりました。

とちぎYMCA 高齢者施設の様子について

・藤生が勤務しているYMCA特別養護老人ホームは、先月の報告同様、「介護業務」に加え「感染予防対策」が増えたため、例年以上に忙しい状況です。
・県を跨ぐ移動が解禁され、都内など感染拡大地域との往来が活発になりました。入居者及び利用者の家族、職員及びその家族の行動を管理することは出来ないため、施設内にウイルスが持ち込まれるリスクが大きくなりました。とにかくワクチン等薬の早期開発を願うばかりです。

近況報告

村田 榮

6月に入り、新しいことに挑戦しました。コロナウィルスの影響で新しい生活スタイルとして、テレビ会議システムZoomの活用が求められています。今までもSkype等の活用があることは知っていましたが、しよせん退職した老人・小生には関係ないものとしてシステムのインストール等をしていませんでしたが、小型カメラの購入をし、Zoomをインストールして、3回のテレビ会議に参加することができました。離れていてもその場にいるような臨場感のあふれるものでした。これは使用できると思いました。第2波が来た時には、このシステムを利用して那須ワイズの活動ができればと思っています。

スポーツウェルネス吹矢がソーシャルスタンディングをとりながら、3蜜を避け、毎週1回（金曜午後）に体育館を利用して始まりました。やっとカレンダーが埋まりました。

自粛がとけて、全国で感染者の拡大が続いています。第2波が心配ですね。一日も早いワクチンの開発が求められます。

6月第2例会（役員会）報告

日時：6月12日（金）午前10時～12時

場所：原田ワイズ宅

出席者：河野会長、田村副会長、村田副会長、原田、

原田メネット

今回は、那須ワイズの皆さんとZoomの活用方法についての勉強を兼ねて開催しました。

協議事項

1. 6月例会の開催の件

現在の新型コロナウイルス状況の推移を鑑み、例会は中止とする。

2. 7月の第1例会・第2（役員会）例会の件

新型コロナウイルス状況を考えると大変難しい状況にある。もう少し推移を見てから開催の可否について判断する。

5. その他

・シイタケ昆布の発注は、皆さんよりの必要数を確認して、時期を早い目に決めて注文をする。次は、8月下旬に注文する。各箱に張っているシールは、各自で責任をもって張る方法に変更。

旧西那須野（那須西原）の緑と水（第87回）

田村修也

印南文作さんは、那須開墾社の社長として今後の社運を思い、開墾が成された土地は出来るだけ移住した農民に小作させて、直営の事業は出来るだけ縮小するという方針を取るようにして、開墾社の経営の先行きに容易ならないものを感じていただけに、病弱に悩みながら、社長としての重責を痛感していました。「19年甚病苦二被侵年来素志果シ不得コト欺キ19年7月以降居ヲ那須野原ニ移セリ」と書き残されているのを見ますと、苦しい心の中が推察されます。

那須開墾社は明治20年（1887）2月4日、先に市制・町村制度施行に向けて、那須野村申請にあたって国から払い下げを受けた残りの面積、3141町6反5畝1歩の払い下げを受けました。これによりまして拝借地全部の所有権を取得したことになりました。その後、3回にわたって土地分割に関する役員会開催、又委員の協議会が開かれまして、12月20日には株主臨時総会が開催されて、株主への土地分割、株主各自の作成する計画による開墾に責任を設けるなどの決議を行いました。土地分割にあたって、地位の鑑定については、社長、幹事に一任することを決め、観象台以北（千本松、那須疏水本幹より標高が高く、疎水の利用が出来ない部分）の土地は売却する方針を取りました。もし買受人のない場合は植林事務所を設置して植林と防火対策に努めることを決定いたしました。

印南文作さんは、明治13年の開墾に着手して以

来、常に開墾事業の先頭に立って、開拓史上最大の規模であった那須疏水の開鑿、開拓者である移住民の招致、開墾、牧畜、植林造成等々の初期の基礎作りに休みなく働き、創業の対訳を果たしましたが、積年の労苦の連続により、ついに病に倒れてしまいました。明治21年1月1日からの農業日誌によりまずとこう記録されています。

明治21年1月1日 晴 午前11時頃までは西風に乗って吹雪いていたが、次第に晴れて正午頃には寒暖計も摂氏5度を差していた。この日年賀に来た移住民一同に屠蘇を「ふるまい、文作も寝床の上起きて、祝賀に答えていた。しかし夕刻には冷えてきたので、用心して臥した。1月2日 快晴 この朝は昨日に比べ風もなく静かであった。数人の職員が矢板家に年賀に出かけた留守のことである。文作は急に腹痛を訴え出したので、居合わせた稲村事務員は昼食を済ませて、直ちに医師を迎えに、那須野駅から宇都宮に向かったが、その晩はこられなかった。3日朝、稲村は宇都宮病院長中山医師を案内して、駅から印南宅に直行した。待ち受けた矢板武幹事、齊藤半次郎も同夜はともに、印南宅に泊まったとありますから、油断を許されないほどに悪化していたことがうかがえます。4日 天気朗晴 正午頃には寒気も幾分、和らいで来たが、容態は衰弱するばかりであった。再起不能を自ら感じたのか、矢板武幹事を枕元に呼び寄せ、突然遺言之の口述を代筆させたのである。この夜矢板武幹事は自宅に帰り、船津、安藤」の諸氏は本社泊り。5日 晴 風 昨夜より気温下がる。矢板武幹事来社、同夜本社泊り、関係の向きに社長の容態を知らせる。

明日、開墾社に居合わせた職員、移住民の心の内は到底筆舌に尽くせるものではありませんので、那須開墾社の、日誌の記載原文そのままに記載いたします。「1月6日快晴 印南社長危篤に付 塩那両郡長 印南自宅に來訪。矢板幹事、斎藤氏 泊り 1月7日 快晴 午後4時 逝去 嗚呼 本日は如何なる日ぞ。」このようにして、明治21年(1888)1月7日、佐久山から移住してきた三区内の自宅において57歳の生涯を終えることになりました。印南文作さんは晩年、絶筆となるご自身の履歴書を書いています。その最後はこう書かれております。「今文作五十有六才十九年、甚病苦ニ被侵年来素志果シ不得事歎キ十九年七月以後居ヲ那須原ニ移セリ、然レ共病未全不癒事業モ未央憂心所止ヲ不知次第ニ御座候」(今文作五十有六才十九年 甚だ病苦に侵され年来の素志果たし得ざる事を歎き十九年七月以後居を那須原に移せり 然れども病全く未だ癒えず

事業も未だ半ば憂心止むところ知らざる次第に御座候)と書かれてありますように、まさに「憂心止むところ知らざる次第」であったこととその無念さが胸に迫って来ます。(以下次号へ)

西那須野幼稚園だより

学校法人 西那須野学園 西那須野幼稚園
園長・理事長 福本 光男

新型コロナウイルスに感染されて病床にある方のご回復、医療・介護関係者、そして、感染対策のために労されている方々に感謝し、ご健康を祈ります。

6月9日は、キリスト教の花の日・子どもの日礼拝でした。子どもたちの健やかな成長を神に感謝し、みんなで喜び合う日です。西那須野教会牧師潘先生が、本物の花と色とりどりに咲いた花の写真を見せて下さいました。潘先生は話の中で「同じ地面に咲いているのに、いろんな色がありますね。どうしてかな?」と問いかけた場面があり、以前にもお伝えした「チューリップ(近藤宮子作詞)」の歌を思い出しました。皆様もよくご存知の歌です。幼稚園でも、更生保護女性の会の皆様も、地域親として子どもたちと一緒にチューリップの球根を植えて下さり、この春も大きくきれいな花が咲きました。

「さいた さいた チューリップの花が
ならんだ ならんだ 赤 白 黄色
どの花みても きれいだな」

この短い3行の中にも、子どもの育ちについての深い意味をくみ取ることができるのではないのでしょうか。チューリップが育つ条件はいろいろあります。太陽と雨は同じ条件だとしますと、それぞれの球根が成長するためには、土の環境が大切です。子どもの育ちで考えますと、神様の見守りのなか、土という環境が、子どもを取り巻く家庭であり、幼稚園であり、地域であり、そして、自然があります。そして、親、教師、そして子どもたちを取り巻く様々の方からの「愛」という養分が分泌され、それを吸収して、様々な花を咲かせます。子どもたちは親が芽を剪定(せんてい)する盆栽であってはならないと考えます。今、園のプランターには、渡辺晴美先生が管理している様々な色の花が咲いています。子どもたちもそれぞれの素晴らしい花を咲かせてほしいと願います。

子どもたちは優しいことばをかけられるだけでも、オキシトシンという幸せや信頼につながるホルモンがでるそうです。この大切な時期忙しさのなかにあっても、一声かける事をたいせつにしたいものです。

最後に、先日電磁波過敏症(EHS)の記事を読みました。私自身はIHヒーターのを使用中にそばに行くと必ず足がしびれます。環境ジャーナリストの加藤やすこさんは、「電磁波に満ちる教育(世界7月号 岩波書店)」のなかで、EHSは携帯の普及とともに世界的に増加した新しい病気で、日本の有病率は3.03~5.7%とのことです。イスラエル教育省が校内での携帯電話を使用禁止したことや、学校無線LANの健康被害による事例も紹介していました。本園も年長児がプログラミング遊びで、2週間に1度40分間、無線LANによるiPadを利用していますので、過敏なお子様がおられましたらお知らせ下さい。

(しらゆり 2020. 6. 12 より)

聖園那須老人ホームたより

社会福祉法人 イースターヴィレッジ
聖園那須老人ホーム 施設長 薄井 高宏
皆様、初めまして。前号まで担当されていました赤坂英昭様に替わりまして4月より聖園那須老人ホームの施設長を拝命致しました薄井高宏と申します。今号より担当させて頂く事になりましたのでどうぞ宜しくお願い致します。

前号まで担当されていました赤坂様は、定年退職を希望されていたところ、私が無理をお願いしまして延長して下さっていましたが、今年4月からは、施設長は私にと現在は至らない私の指導、補佐をお願いしています。

さて、今号は、ご挨拶方々、僭越ながら私の自己紹介をさせていただきたいと思えます。私は、稲作と和牛の生産を生業とする兼業農家に生まれ、生まれも育ちも那須町と幼少期から青年期を田舎で過ごしました。父は兼業農家の傍ら、造園業も行い、生活の半分を釣りと狩猟と酒に費やす趣味人でしたので幼少の頃は父の仕事は何かと尋ねられると答えに困っていたのを今でも憶えています。

私は、四人兄弟の三男ですが、医療関係、障害福祉関係に勤める兄二人の影響もあり、高校を卒業して高齢者福祉関係の専門学校に進学しました。卒業年には、折しも介護保険法の施行年と重なり、福祉の大きな転換期に突入するところでした。

その後、社会福祉法人の運営する特別養護老人ホームに3年、同法人通所介護事業所に通算4年(併設型約2年半と単独型約1年半)、同法人小規模多機能型居宅介護事業所の立ち上げに関わり、同事業所の管理者を1年務めた後、現在の社会福祉法人イースターヴィレッジ養護老人ホーム聖園那須老人ホ

ームに就職し、今年13年目を迎えます。高齢者福祉業界には通算すると21年目となりますが、新しい知識や新しい技術、新しい法令に日々勉強の毎日を送っております。

人生のまだまだ新米ではありますが、せっかくの機会を頂きましたので出来る限りの事を頑張りたいと思いますので今後とも宜しくお願い致します。

YMCAだより

【5月のYMCAの状況】

【宇都宮】

英語→5/11(月)からZoomを用いてオンラインレッスンを始めた。

ウエルネス→5/19、5/20、5/21、5/26、5/27、5/28の計6回 Zoomを用いてオンラインデモレッスンを行った。

野外→Zoomを使って子どもとのオンライン顔合わせ会を行なった。5/16(土)

【宇都宮東】

英語→5/11(月)からZoomを用いてオンラインレッスンを始めた。

【足利】

5/30まで継続して学童保育を行った。

【那須(西那須野幼稚園関連)】

Zoomを用いて体育指導を行った。

(4/30、5/1、5/7、5/8、5/15)

サタデークラブは、5/23(土)より再開した。

【さくらんぼ幼稚園】

5/26(火)から「登園自粛要請」を解除した。

5/26(火)~29(金)まで1号認定児は午前保育とし、

6/1(月)より全体で通常保育を再開予定。

【ようとう保育園】

85名登園(5/18)

【トライ東】

5/18(月)~全館再開した。

【マイホームきよはら】

リモート面会、窓越し面会を実施しています。

引き続き入館を(禁止・制限)しています。

【Zoomを用いて子どもたちと交流会を行いました!!】

5/31(日)に11:00~12:00、16:00~17:00の2回に分けて交流会を行っていきました。久しぶりに顔を見ることが出来て、子どもたちもリーダーもとても嬉しそうでした。

交流会ではリーダークイズやゲーム、体操などに楽しんで参加していました。画面越しではありましたが

がお互いに元気になれた時間でした。

【西那須野幼稚園の講師派遣が再開しました！！】

5月16日まで中断されていた講師派遣が5月21日より再開し、通常通り年長・年中の運動遊び、年長の英語遊びが始まりました。久しぶりに行う対面での運動遊びということで子どもたちも楽しみにしていたようでした。

また、サタデークラブも再開され再開1回目は御殿山公園へ自然散策に行きました。

はじめていく公園や自粛生活だったということもり外で思いっきり遊べて、とても楽しそうでした。

【とちぎYMCAリーダートレーニングの報告】

5月15日(金)第1回目のとちぎYMCAリーダートレーニングを実施しました。コロナウイルス感染拡大防止のため、『Zoom』を利用して行いました。4拠点のリーダー、計38名がオンライン上で集まりました。全3回のトレーニングを予定しており今回の内容は、『YMCA理解』と『リーダーの役割』リーダーたちは真剣な眼差しで取り組んでいました。次回は5/22(金)『学校教育とYMCA』、5/29(金)『安全管理・プログラムマネジメント・対象理解』を予定しています。



とちぎYMCAは、
離れていてもつながっている！
離れていても思いはひとつ！

子どもたちに素敵な体験を届けたい！！

よりよいプログラムに向けて準備します。

【とちぎYMCA・那須YMCAの6月の予定】

・6/6(土) サタデークラブ@西那須野幼稚園 科学実験

・6/13(土) サタデークラブ@西那須野幼稚園 科学実験

・6/13(土) さくらんぼ幼稚園入園式@さくらんぼ幼稚園

・6/14(日) Yキッズ@さくらんぼ幼稚園 段ボール迷路作り

ユースリーダーのつぶやき

1. 名前(リーダー名) 2. 学校名 3. 出身地 4. YMCAに入ったきっかけは? 5. 思い出に残った活動とその理由は? 6. 今後の進路は? 7. YMCAに一言



① 加藤 愛理 ありす(ディズニーが好きだから)

② 国際医療福祉大学保健医療学部言語聴覚学科1年

③ 群馬県

④ 子どもたちと触れ合える

ボランティア活動に興味を持っていた際、YMCAの活動を知り入りたと思いました。

⑤ サタデーとYキッズです。

子どもたちと一緒に遊んで楽しい時間を過ごせた事と、先輩リーダーの活動を見て沢山学べることがあり自身の成長へと繋がるものだからです。

⑥ 言語聴覚士として病院で働くことです。

⑦ まだ活動して日は浅いですが先輩リーダーに支えられて沢山の事を学ぶことが出来ています。また、子どもたちと触れ合うことによっていっぱい元気を貰うことができ、充実した時間を過ごせています。ぜひ活動に参加してみてください！

編集後記

・6月号ブリテンが7月にずれ込んでしまい申し訳ありません、早々と原稿をお送りくださっていた方々にお詫び申し上げます。

・原稿を集めることの難しさを痛感した1か月でした。多少小生の怠け心もあったと思います。

・新年度に向けて心機一転がばります。よろしくご指導ください。尻を叩いてでも早くしろと怒ってください。